

# 胃がんリスク判定

簡単  
チェック!

日本人に非常に多い「胃がん」、男性はおよそ11人に1人、女性の24人に1人が、一生のうちに「胃がん」と診断されています。



**血液で 胃がんのなりやすさ がわかる!**

◎下記の2種の血液検査で「胃の萎縮度」と「ピロリ菌感染の有無」がわかります。

ピロリ菌に感染し、胃粘膜の萎縮が進行すると、胃がんになりやすいといわれています。

## ●ペプシノゲン検査

胃がんのリスクとなる胃粘膜の萎縮を調べる検査です。

## ●ヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査

ピロリ菌の感染の有無を調べる検査です。

◎血液検査の結果により、胃がんのリスクをA・B1・B2・C・Dの5段階で判定します。

| 結果    | 判定 | 胃粘膜の状態(予測)                                        | 今後の検診(検査)について                                                                                                                                        |
|-------|----|---------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 異常なし  | A  | ピロリ菌感染がなく、健康な胃粘膜です。胃がんが発生するリスクは低い状態です。            | 稀にピロリ菌の感染や感染の既往がある方が含まれることがありますので、胃内視鏡検査(公費補助あり)を受け、胃粘膜に炎症や萎縮がないかの確認をしてください。検査結果に異常がなければ、次回胃がん検診は5年後になります。                                           |
|       | B1 | ピロリ菌に感染していますが、胃粘膜の萎縮は軽度です。                        | 精密検査として、胃内視鏡検査(保険診療)をお受けください。医師に画像診断をしていただき、除菌の必要性等、今後の検査や治療について相談してください。胃がんが発見されるのは、今年だけでなく、5年後、10年後、20年後かもしれません。必ず、医師に指示された間隔で内視鏡検査(保険診療)をお受けください。 |
| 要精密検査 | B2 | ピロリ菌感染による胃粘膜の炎症が強く認められます。進行の早い胃がんができるタイプです。       |                                                                                                                                                      |
|       | C  | ピロリ菌感染による胃粘膜の萎縮が強く認められ、胃がんがしやすいタイプです。             |                                                                                                                                                      |
|       | D  | 胃粘膜の萎縮がさらに進んで、ピロリ菌が陰性になった状態です。胃がんのリスクがさらに高まっています。 |                                                                                                                                                      |

## 検診を受けられる皆様へ

1. 受診の際、マスク着用にご協力ください。
2. 風邪症状、体調の悪い方は受診を控えてください。症状が治まってから1週間経過以降に受けて頂くようお願いします。

★検診実施日が変更になることがあります。

広報、または市ホームページにてご覧いただくか健康推進課へお問い合わせください。

裏面あり



# 藤枝市の胃がん検診について

藤枝市では、胃がんのリスク分類に基づいた「**ピロリ菌胃がんリスク判定**」(以下リスク判定)を行っています。胃がんになりやすい方、なりにくい方(胃がんのリスク)を判定し、その結果に応じて**内視鏡検査(検診または保険診療扱い)**を行います。リスク判定で胃がんが見つかるわけではありません。あわせて画像検査(内視鏡検査または胃部エックス線検査)を受けることで、胃がん発見に有効です。**画像検査も必ず受けましょう。**

※現在、消化器系の病気で通院されている方は、受診について主治医にご相談ください。

今年度  
65才になる方  
必見

## 検査費用:990円

### ◆無料の方

- ①高齢受給者制度・後期高齢者医療制度の対象の方
- ②昭和35年4月2日から昭和36年4月1日生まれの方

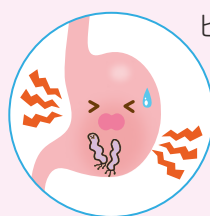
- ③市県民税が世帯全員非課税の方 ④生活保護を受けている方

※③④の方は、「無料受診券」が必要。事前に健康推進課へ申請を!!

持ち物:本人確認書類 受付:平日8:30-11:50、13:00-16:50

## 「ピロリ菌」て何?

◇人間の胃の中に住む細菌で、胃の粘膜を傷つけ長期的には胃潰瘍の原因となったり、胃の老化現象である萎縮性胃炎を引き起こすことがわかっています。最近の研究では



ピロリ菌を除菌することで、将来的に胃がんになる危険性を減らすことができるのではないかと考えられるようになってきています。

## 「ピロリ菌」の感染と疾患

◇ピロリ菌は胃酸の分泌や胃粘膜の免疫機能が不十分な幼少児期(4~5歳)頃までに感染すると考えられています。

◇ピロリ菌に感染すると、慢性胃炎が起きます。

この胃炎はピロリ菌感染胃炎ともいわれ、胃潰瘍、萎縮性胃炎や胃がんなど、胃の病気を多く引き起こします。

## 「リスク判定」が受けられない方など

- ①胃の切除手術を受けたことのある方
- ②過去にピロリ菌の除菌を受けたことのある方
- ③腎不全または透析を受けている方

上記①~③に1つでも該当する方は、血液検査における正しい判定ができないため本検査は受けられません。胃内視鏡検査による、胃がん検診を受けることができます。健康推進課へご連絡ください。



**【注意】**胃酸分泌抑制剤(プロトンポンプ阻害薬)を内服している方は、ペプシノゲン検査結果が誤って正常と判定される可能性があります。

## 精密検査になったら…

◇今回行っていた検査は、胃の病気の背景をみる方法であり、胃がんなどの病気を直接診断する方法ではありません。必ず精密検査(胃内視鏡検査)を受けてください。また、その後も検査結果に応じて、医師の指示通りの間隔で胃内視鏡検査を受けることで、早期胃がんや他の病気の発見につながります。



◇ピロリ菌の除菌治療については、疾患名により保険対象外になる場合がありますので、必ず医師にご相談ください。

## 検診日時・場所:志太医師会検診センター(※詳細は受診券をご覧ください。)

※感染症の流行状況や悪天候などにより、予告なく検診が中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。また、各種警報が発令された場合については、以下をご参照ください。

**【藤枝市に各種特別警報および暴風警報が発令された場合の対応】**

| 警報解除時刻     | 検診実施の有無   |
|------------|-----------|
| 午前6時までに解除  | 通常どおり実施   |
| 午前10時までに解除 | 午後の検診は実施  |
| 午前10時以降に解除 | 午前・午後とも中止 |

お問合せ先

藤枝市健康推進課  
(保健センター)

TEL:645-1111

FAX:645-2122

Eメール:hokencenter@city.fujieda.shizuoka.jp



メール送信はコチラ